

2016年3月期 期末  
**決算説明会**

2016年05月23日

三櫻工業株式会社

((証券コード：6584 東証一部))

- 2016年3月期 期末決算概要
  
- 2017年3月期 業績予想
  
- 今期の取り組み

## ■ 2016年3月期 期末決算概要

## ■ 2017年3月期 業績予想

## ■ 今期の取り組み

# 2016年3月期 連結損益状況：対前期

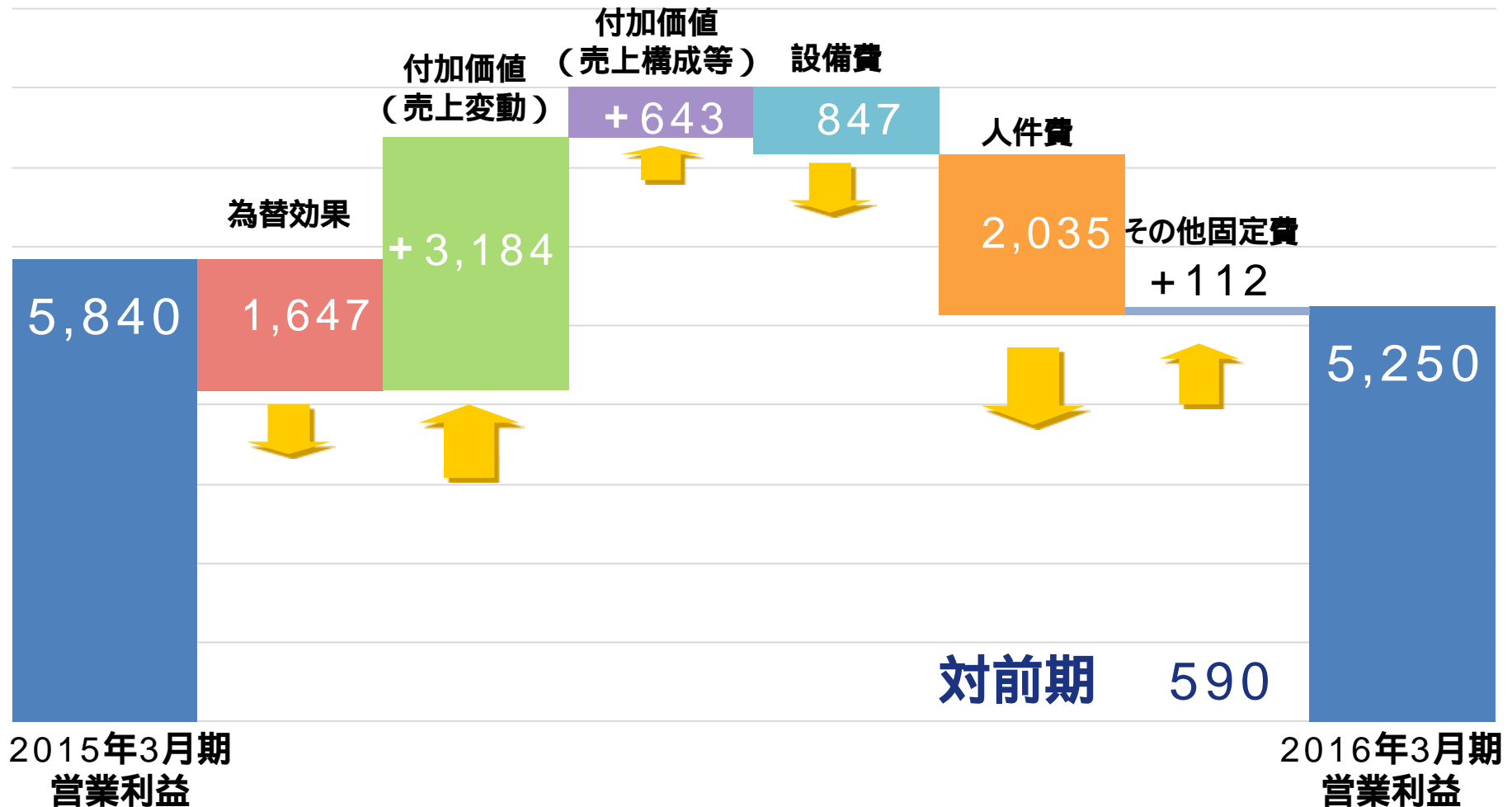


連結	2015年3月期 実績		2016年 3月期 予想	2016年3月期 実績					
	金額 (百万円)	売上高比 (%)		金額 (百万円)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前期		対予想
			増減額 (百万円)				増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	130,627	100.0	133,000	130,008	100.0	620	0.5	2,992	2.2
営業利益	5,840	4.5	6,100	5,250	4.0	590	10.1	850	13.9
経常利益	5,123	3.9	5,500	4,255	3.3	868	16.9	1,245	22.6
当期純利益 <sup>*</sup>	1,577	1.2	2,500	618	0.5	2,195	-	3,118	-

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## ● 営業利益要因別増減分析：対前期

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	対前期 増減	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	対前期 増減
日本	54,959	51,568	3,391	2,171	876	1,295
米州	42,155	45,770	+3,615	1,862	2,693	+831
欧州	24,446	23,145	1,302	606	113	718
中国	12,701	13,000	+299	75	436	+361
アジア	16,083	16,253	+171	1,426	874	553
調整	19,718	19,729	11	299	484	+783
合計	130,627	130,008	620	5,840	5,250	590

## ● 2016年 3月期 の地域別業績のトピックス

- 日本 : 国内自動車販売台数の減少等により減収・減益。
- 米州 : メキシコ新工場の売上増加及び為替影響等により増収・増益。
- 欧州 : 為替影響及びガイガー オートモーティブ社における新規立上がり費用の増加等により減収・減益。
- 中国 : エンジン部品工場の本格稼働が寄与したこと及び管理部門の合理化による費用削減等により増収・増益。
- アジア : 売上高はほぼ前年並みとなったが、為替影響及びインドにおける固定費の増加等により減益。

# 2016年3月期 決算のトピックス



連 結		2015年 3月期 実績	2016年 3月期 予想	2016年3月期 実績			主な増減要因 (金額は百万円)			
				金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)		対前期		対予想
								増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
営業利益		5,840	6,100	5,250	590	10.1	13.9			
営業外 損益	営業外 収益	351	-	298	53	-	-			
	営業外 費用	1,068	-	1,293	+ 225	-	-	・為替差損の増加 + 492 ・支払利息の減少 110		
経常利益		5,123	5,500	4,255	868	16.9	22.6			
特別利益		36	-	6	30	-	-			
特別損失		250	-	2,645	+ 2,395	-	-	当期特別損失の内訳 ・減損損失 2,306 ・訴訟関連損失 162 ・関係会社整理損 41 他		
連結税引前利益		4,909	-	1,615	3,294	67.1	-			
法人税等		2,987	-	1,717	+ 1,270	-	-	・税引前利益に対する比率が増加 (減損損失は税務上損金とならないため)		
非支配株主利益		345	-	517	+ 172	-	-			
当期純利益 *		1,577	2,500	618	2,195	-	-			

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

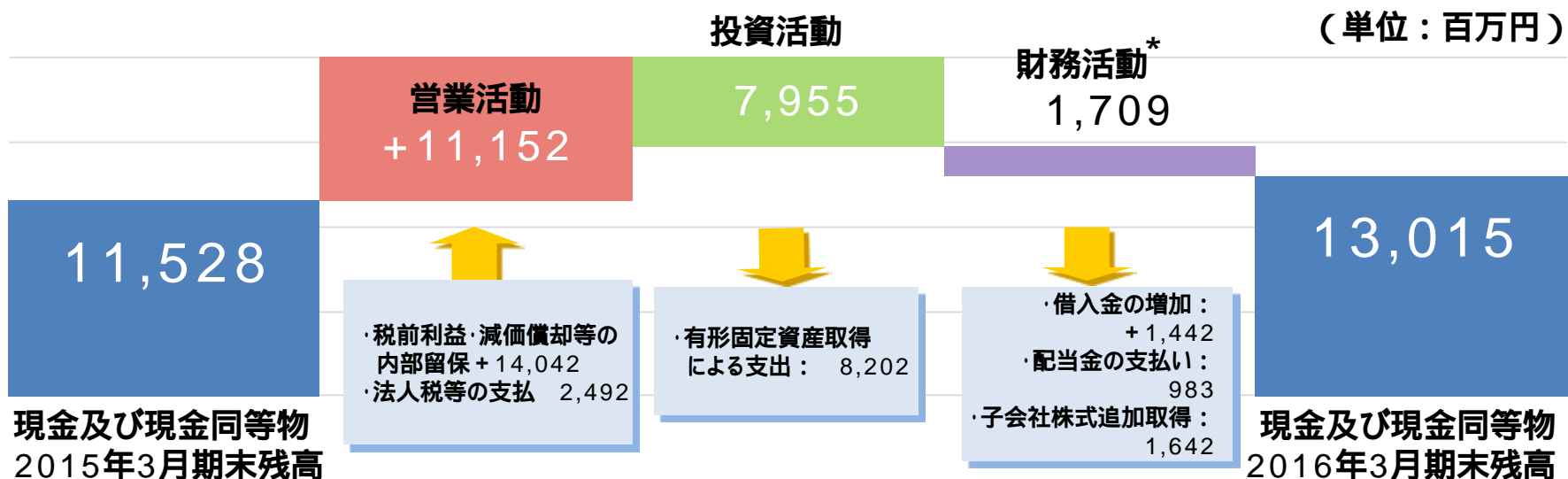
# 2016年3月期 連結財務状況：対前期末



連結		2015年3月期末		2016年3月期末				
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末 増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)	
流動資産	流動資産	55,065	50.6	55,374	53.1	+ 309	<b>総資産： 4,531増加</b> 現金及び預金の増加 : + 1,488 売上債権の減少 : 983 有形固定資産の減少 : 4,357 固定資産減損、 減価償却 投資有価証券の減少 : 1,689	
	固定資産	53,680	49.4	48,840	46.9	4,840		
資産合計		108,745	100.0	104,214	100.0	4,531		
流動負債	流動負債	34,392	31.6	33,673	32.3	719		<b>負債総額： +3,757増加</b> 借入金の増加 : + 720 仕入債務の減少 : 941 退職給付に係る負債の増加 : + 4,829 主にマイナス金利による割引率低下による
	固定負債	30,996	28.5	35,472	34.0	+ 4,476		
	負債合計		65,388	60.1	69,145	66.3	+ 3,757	
純資産合計		43,357	39.9	35,069	33.7	8,289	資本剰余金 : 370 ( ) 利益剰余金 : 1,473 純利益、配当 非支配株主分 : 1,141 ( ) 有価証券時価評価差額 : 1,065 上場株式の評価替 為替換算調整勘定 : 1,336 円高による影響 退職給付に係る調整額 : 2,904 マイナス金利の影響	
負債純資産合計		108,745	100.0	104,214	100.0	4,531	( ) 主にSTI Sanoh株式取得による減少	



## ● 2016年3月期 連結キャッシュフローの状況



\* 現金及び現金同等物に係わる換算差額 ( 521百万円 ) 及び連結除外に伴う減少額 ( 5百万 ) は財務活動に含まれております。

**対前期 +1,488**

## ● 設備投資 ( 連結 ) の状況

(単位：百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期		2017年3月期 計画
		実績	対前期	
設備投資額	8,038	8,202	+164	9,000
減価償却費	5,809	6,083	+274	5,714

■ 2016年3月期 期末決算概要

■ **2017年3月期業績予想**

■ 今期の取り組み

# 2017年3月期 通期業績予想：対前期



連結	2016年3月期実績		2017年3月期業績予想	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前期	
			増減額(百万円)	増減率
売上高	130,008	132,000	+1,992	+1.5%
営業利益 [営業利益率]	5,250 4.0%	5,100 3.9%	150	2.9%
経常利益 [経常利益率]	4,255 3.3%	5,000 3.8%	+745	+17.5%
当期純利益* [当期純利益率]	618 0.5%	2,000 1.5%	+2,618	
一株あたり純利益(円)	16.99	54.95	+71.94	
配当(円)	24.0	24.0	0.0	

為替レート	2016年3月期実績		2017年3月期予想	
	期末レート(円)	想定レート(円)	対前期	
			増減額(円)	増減率
米ドル	120.61	108.0	12.61	10.5%
ユーロ	131.77	122.0	9.8	7.4%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## ● 売上高の変動要因

- + : 日本、アジア(タイ・インド)の売上増
- : 円高により米州、欧州の円換算後の売上が減少

## ● 営業利益の変動要因

- : 円高により海外現法が日本から購入する材料価格が上がることによる減益影響

■ 2016年3月期 期末決算概要

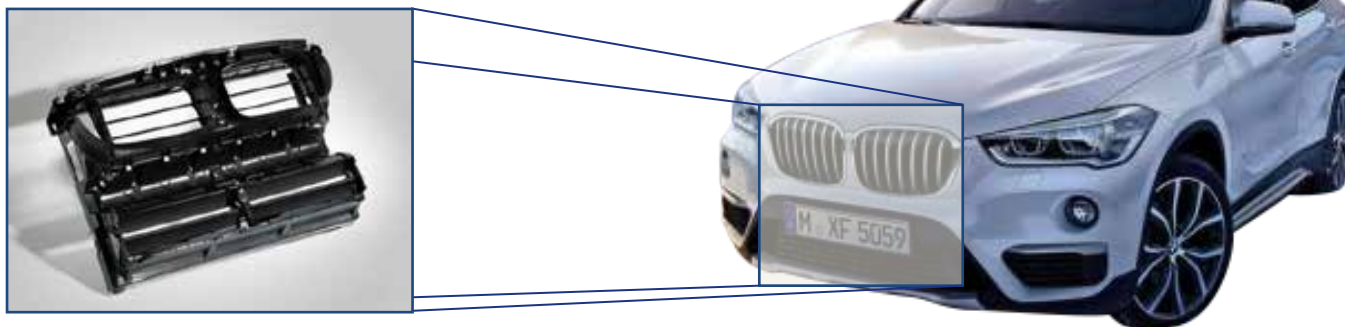
■ 2017年3月期 業績予想

■ **今期の取り組み**

# Geiger 収益悪化 原因と対策

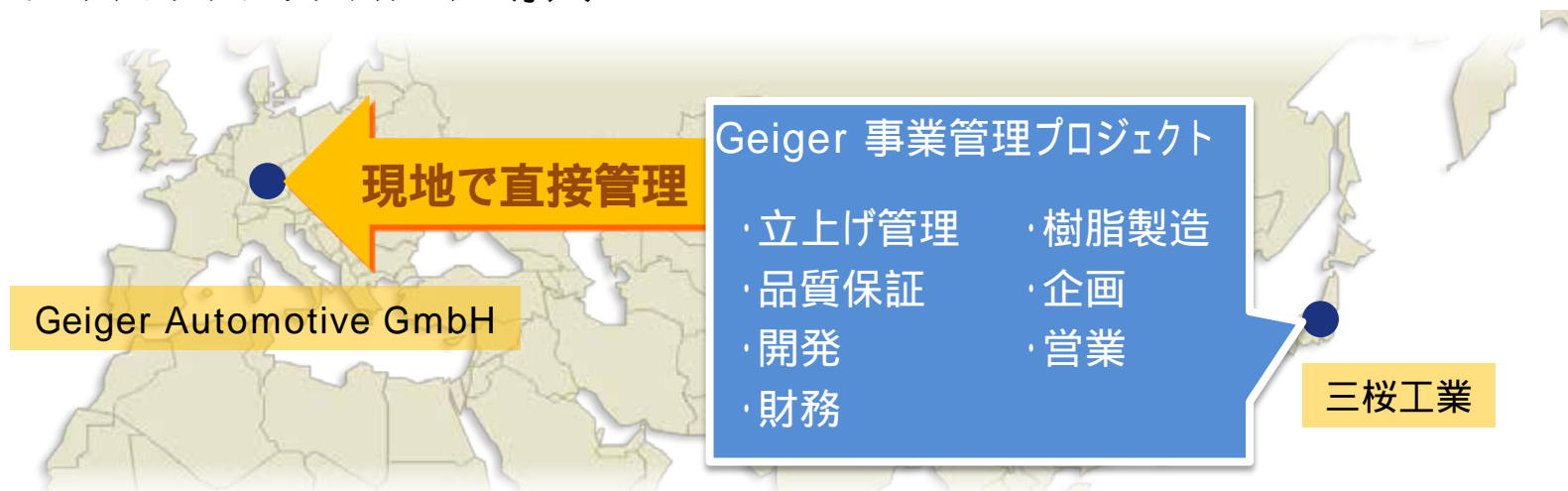
## 原因

BMW向けエアシャッターガイド受注  
新規立上げ時の生産混乱



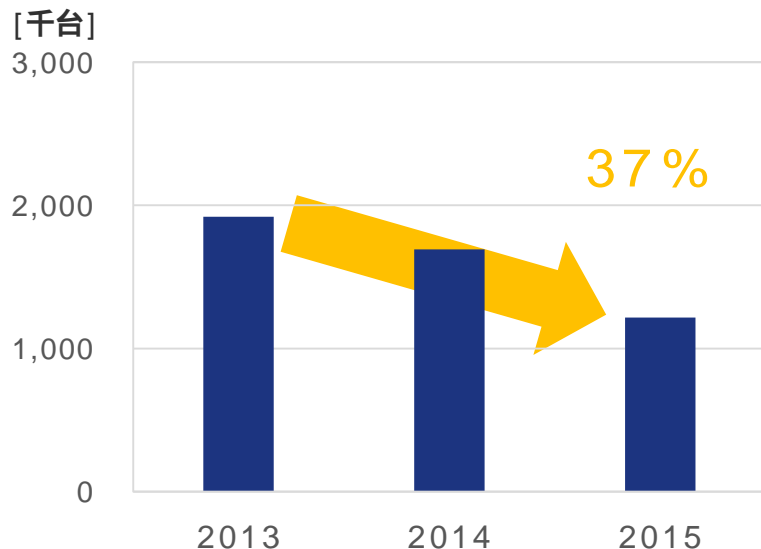
## 対策

Geiger 事業管理プロジェクト発足      Geiger バックアップ体制の強化  
三桜プログラムマネジメントシステムの導入



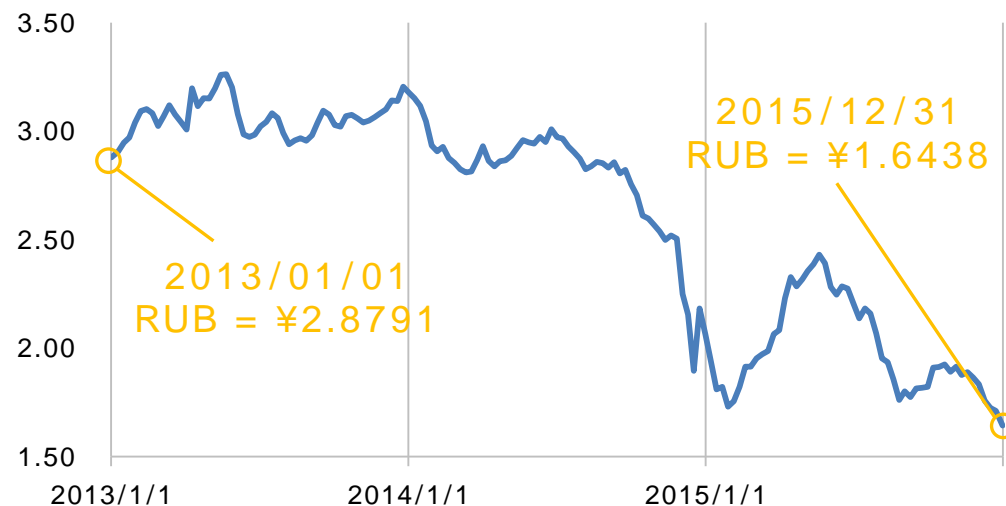
## ロシア自動車生産台数

3年間で 37%の減産



## ロシアルーブル 為替変動推移

3年間で 43% ルーブル安

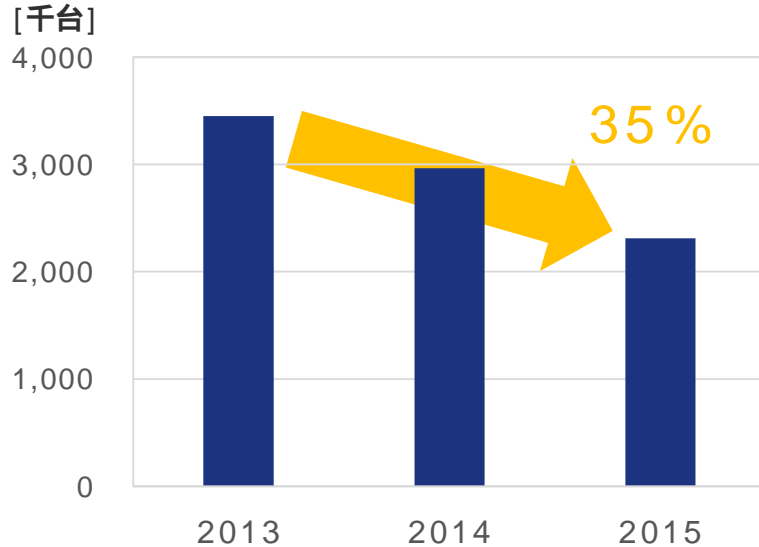


## 対策

1. SEZ（経済特区）への工場建設を凍結
2. ロシア3工場統廃合による業務、生産効率向上
3. 経営現地化促進 現地人幹部による経営体制にシフト
4. 為替変動に伴う客先販売単価交渉

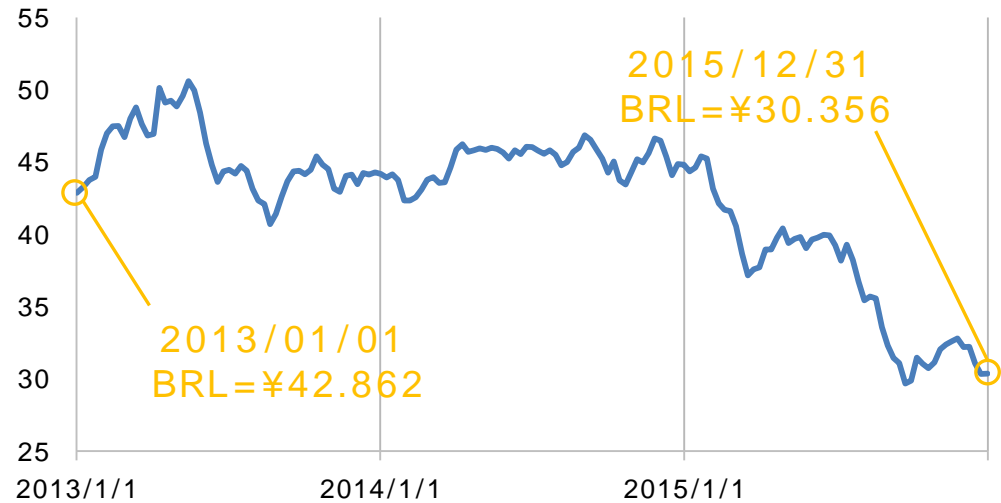
## ブラジル自動車生産台数

3年間で 35%の減産



## ブラジルレアル 為替変動推移

3年間で 29% レアル安

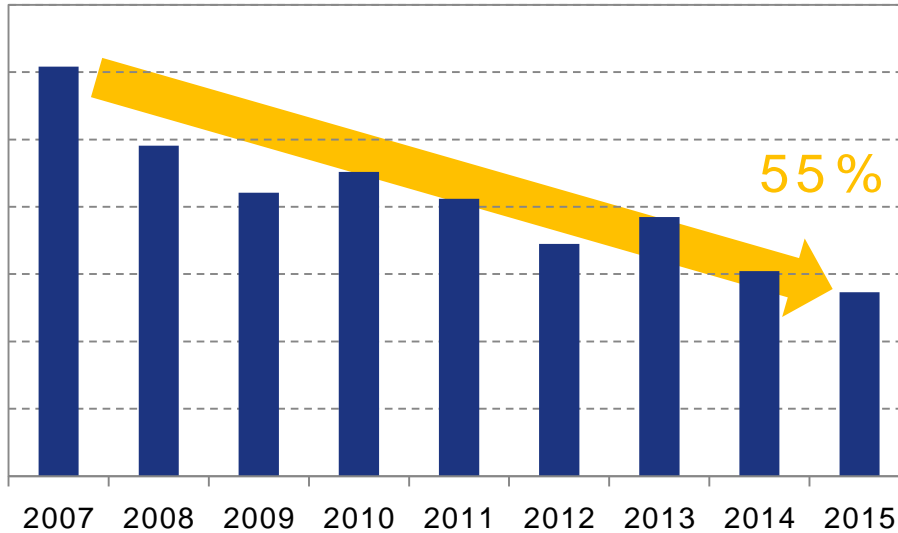


## 対策

1. 造管工場建設の凍結
2. 為替リスク軽減のための設備現地調達および現地製作
3. 三桜メキシコグループ会社から完成品で購入している樹脂製品の現地生産化
4. 為替変動に伴う客先販売単価交渉

## 埼玉事業所 売上推移

2007年から2015年で売上半減

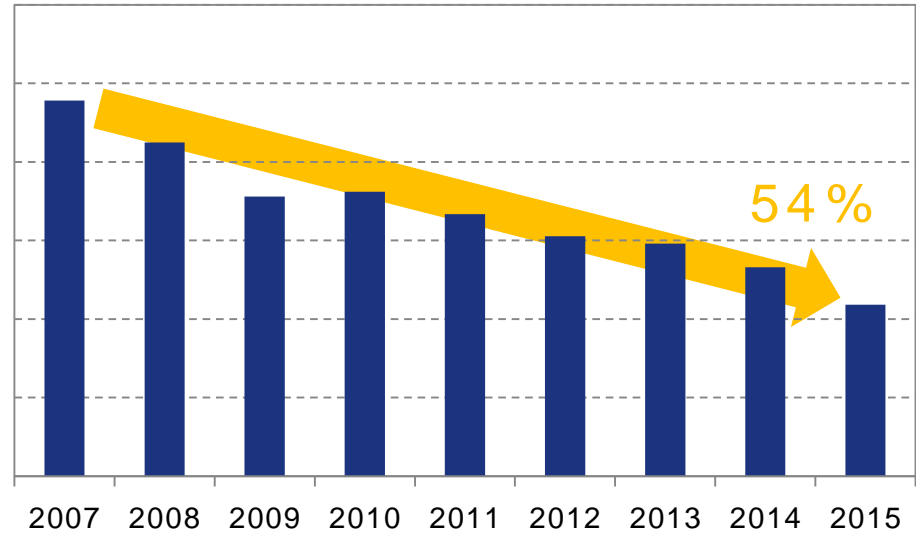


原因：

- ・海外現地生産化加速による国内売上減
- ・ブレイジング製品の国内生産集約による他工場移管

## 滋賀事業所 売上推移

2007年から2015年で売上半減



原因：

- ・海外現地生産化加速による国内売上減
- ・客先生産車種の他地域（国内・海外）への移管

・グループ全体のマザー工場としての新技術・新設備導入費用が増大



# 事業部制移行による全体最適化

## 従来の工程別組織



造管

表面  
処理

樹脂  
製品

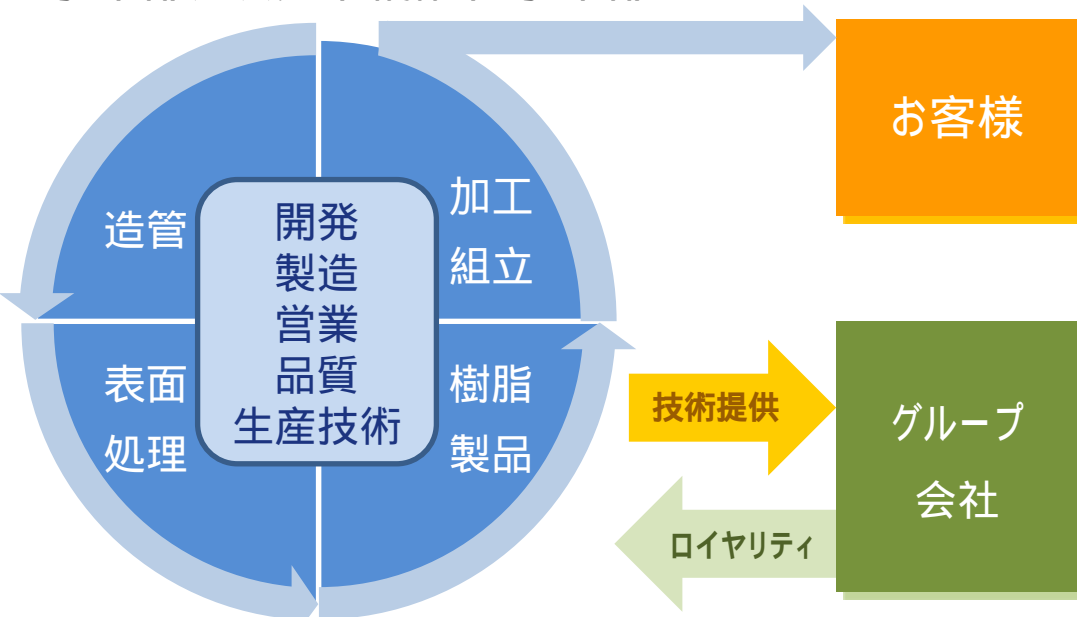
加工  
組立

お客様

減損対象

- ・埼玉事業所
- ・滋賀事業所

## 事業部組織 車輛配管事業部



1. トータル利益管理
2. グローバルマザー機能強化 ロイヤリティ還元
3. 生産体制再編、全体最適化
4. 新技術・新製品 市場投入スピードアップ
5. お客様ニーズへの迅速な対応

- ・国内事業基盤強化
- ・競争力向上

## ブレーキチューブ生産ラインの革新

### 従来造管・表面処理工法



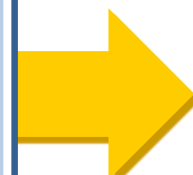
### 新造管・表面処理工法



大型設備による一極集中生産から  
コンパクト化、多極分散生産へ

### コンパクトライン導入メリット

1. 省スペース (1/4目標)
2. 廃水処理不要  
(設置場所制限無し、環境負荷低減)
3. 投資コスト低減
4. 耐蝕性の向上
5. フレキシブル性向上 (移設可能)



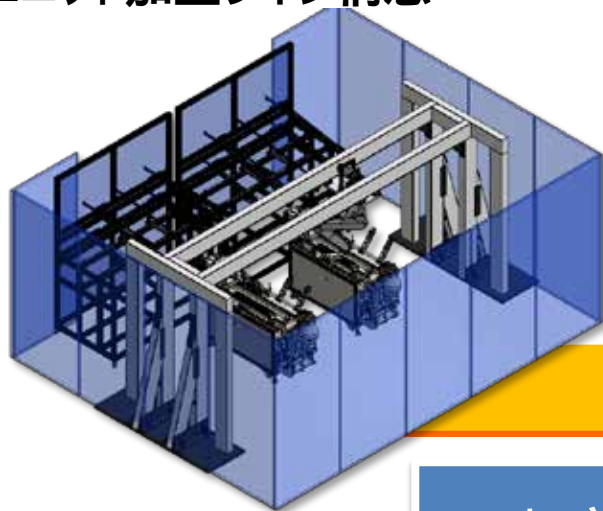
- ・ 海外現地生産化の促進
- ・ 為替抵抗力向上
- ・ リスク分散

## 同期生産・同期納入

客先自動車組み立て工場内における同期生産・同期納入



## ユニット加工ライン構想



- ・ 自動ロボット加工ライン
- ・ 混流生産
- ・ 省スペース
- ・ 24時間稼働
- ・ 20万台1ユニット
- ・ 在庫レス
- ・ 物流費レス

お客様へのソリューション提供

**このプレゼンテーションで述べられている三桜工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。**

**マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。**

**従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。**